

逆光対策標識

「逆光時でも・夜間でも」見やすい標識

自動車専用道路では、出口や分岐を案内する標識は大変重要な施設です。交通の円滑化と事故防止には、逆光でも夜間でも標識が見えやすくすることが大切です。特に東西に走る路線では朝方、夕方に太陽に向かって走行することになり、標識が読めない現象がおきます。

『逆光対策標識』は「いつでも・見やすい」標識を提供します。



国土交通省でもご採用いただいております。（鹿児島県 国道225号）

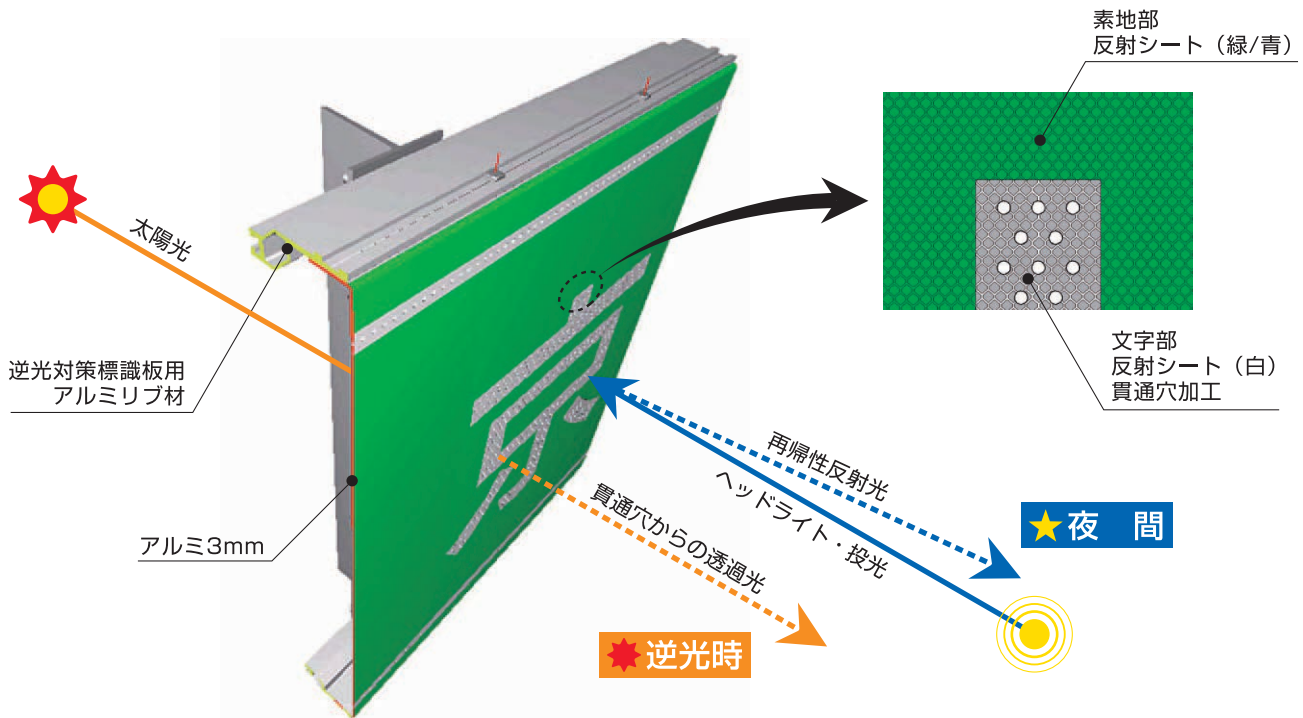


逆光対策標識（逆光時）



従来の標識（逆光時）

■ 逆光対策標識板の構成



■ 特 徴

標識板はアルミ3mmの基板と、当社独自の逆光対策標識板用アルミリブ材を使用した、新タイプの構造で作られ、穴加工が施してあっても強度、耐久性は従来品同等以上です。

1. 逆光時は～

背面の太陽光を透過させ、判読に必要な板面輝度を確保します。

2. 夜間は～

再帰性広角反射シートをヘッドライト、投光器等で効率的に照らし、最適な板面輝度を確保します。

3. 昼間は～

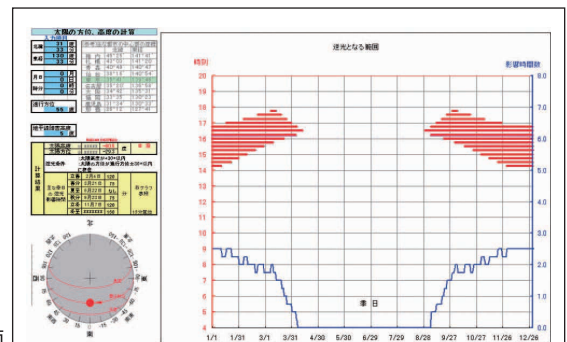
通常の標識板と同等の視認性を保ちます。

■ 逆光情報検索システム

逆光標識の設置にあたっては、当社独自のシステムにより、設置場所の緯度、経度、車線の方位角度から年間を通しての逆光情報が検索できます。

これにより計画、設計段階からの細やかな検討が可能です。

逆光情報検索システム画面



NR 日本リーテック株式会社

社会インフラ本部

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町1-6

Tel 03-6880-2730 Fax 03-6880-2752

<http://www.j-rietec.co.jp>